

大会名称: 国民体育大会
第40回四国ブロック大会



開催場所: 松山市総合コミュニティセンター体育館 Bコート

試合区分: No. 2 成年男子 1回戦

期 日: 2019(R01)年8月18日(日)

主審: 中井 将基

開始時間: 10:40

第1副審: 二宮 光司

第2副審: 池田 隼人

<h1>香川県</h1> <p>(香川県)</p>	<p>○</p> <h1>91</h1>	<p>15 - 25 25 - 25 28 - 12 23 - 17 - - -</p>	<p>●</p> <h1>79</h1>	<h1>徳島県</h1> <p>(徳島県)</p>
---------------------------	----------------------	--	----------------------	---------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	益満 貴幸	7	1	2	0	2
5		香川 誠治	11	0	3	5	2
6	*	本井 敏雄	6	0	3	0	2
7		植村 尚友	2	0	0	2	1
8		福永 直人	-	-	-	-	-
9	*	山野 裕太	17	1	6	2	0
10	*	梶原 聖大	27	0	11	5	2
11		岩田 凌綺	3	1	0	0	0
12		前田 虎城	-	-	-	-	-
13		國方 俊吾	-	-	-	-	-
14	*	鈴木 涼太	16	0	6	4	2
15		池本宗太郎	2	0	1	0	0
HC		近石 裕幸 / TEAM					-
		合計	91	3	32	18	11

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		市橋 信彦	11	3	1	0	1
5	*	虎尾 魁人	19	0	9	1	3
6	*	井上 涼介	19	2	6	1	4
7		坂東 俊兵	0	0	0	0	0
8		村田 和輝	0	0	0	0	0
9		平石 侑督	0	0	0	0	1
10	*	花本 悠暉	9	1	3	0	3
11	*	山本 由伸	9	3	0	0	0
12		丸岡 和史	0	0	0	0	3
13		細川 翔平	0	0	0	0	0
14		堀江 剛司	1	0	0	1	3
15	*	赤葉 玲音	11	0	5	1	3
HC		吉岡 博文 / TEAM					-
		合計	79	9	24	4	21

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1クォーター、両者マンツーマンディフェンスで試合スタート。徳島県は#6のジャンプシュートや、厳しいディフェンスからのファストブレイクで点数を重ねる。一方香川県は#10のドライブを起点にオフェンスを展開する。徳島県はミドルシュートを確実に決め、点差を広げようとするが、香川県も懸命にリバウンドを取り、なんとかくらくらいつく。徳島県は#4の3Pが決まり点差を広げ25-15徳島県リードで終える。

第2クォーター、開始1分で徳島県は#5、#6のファストブレイクから連続得点し、リードを広げる。香川県は#6、#10のインサイドプレイで粘りを見せるが、徳島県の堅いディフェンスをなかなか崩すことができない。香川県はリバウンドシュートを徹底し、点差を保ったまま50-40徳島県リードで前半終了。

第3クォーター、香川県はゾーンディフェンスを敷き、反撃を試みる。徳島県は香川県のディフェンスに苦戦し、香川県はその隙にファストブレイクで得点を重ね、開始4分で逆転する。徳島県はここでたまたまタイムアウトを取るが、香川県の#5、#6を起点としたプレイでリードを広げられる。徳島県はメンバーチェンジで流れを変え、#4の3Pで追い上げを見せ、62-68香川県リードで終える。

第4クォーター、香川県はマンツーマンディフェンスに変え、#10の1対1から点差を広げようとする。徳島県は#10のドライブインを起点に果敢に攻めるが、外からのシュートがなかなか決まらない。一方、香川県は#6のポストプレイを起点に#9の3Pで点差を広げる。残り2分、徳島県は8点差に広げられたところでタイムアウトを取り、形勢逆転を図るが、香川県の高さを生かしたプレイを守ることができず、79-91香川県が勝利した。高さを生かした香川県と厳しいディフェンスで対抗した徳島県の白熱したゲームであった。

担当: 竹宮 和輝(愛媛県バスケットボール協会)

四国バスケットボール協会・一般社団法人愛媛県バスケットボール協会

